

2021 年度小委員会活動成果報告

(2022 年 1 月 17 日作成)

小委員会名	構造工学論文集編集小委員会	主 査 名：五十田博 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会	委員長名：五十田博
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・ 1 編につき 3 名による査読付き論文集『構造工学論文集』（日本学術会議土木工学・建築学委員会監修）を毎年 1 回刊行し、掲載論文を中心としたシンポジウムを開催することにより、産・官・学、各界の研究者・技術者に学術交流・技術交流の場を提供し、構造工学の一層の発展を図ることを目的に活動を行う。</p> <p>初年度：第 67 回構造工学シンポジウムの開催 2 年度：査読付き論文集『構造工学論文集 Vol.68B』の刊行 第 68 回構造工学シンポジウムの開催 3 年度：査読付き論文集『構造工学論文集 Vol.69B』の刊行 第 69 回構造工学シンポジウムの開催 4 年度：査読付き論文集『構造工学論文集 Vol.70B』の刊行 第 70 回構造工学シンポジウムの開催</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無（構造工学にかかわるあらゆる分野が論文の対象となるため、各運営委員会主査を委員に配するなどして、分野構成には特に考慮している）。	
	主査：五十田博（京都大学） 幹事：吉敷祥一（東京工業大学）、高橋典之（東北大学）、永野正行（東京理科大学）、 山川 誠（東京理科大学）、米田雅子（日本学術会議、東京工業大学） 委員：五十嵐規矩夫（東京工業大学）、川口健一（東京大学）、菊地 優（北海道大学）、 楠 浩一（東京大学）、田村修次（東京工業大学）、蛭川利彦（九州大学）、 森 保宏（名古屋大学）	
設置 WG (WG 名：目的)		
2021 年度予算	350,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s11/

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	4 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	1. 第 67 回構造工学シンポジウム 参加者 644 名 ① 特別講演会 「兵庫県南部地震を経て伝えるべきエンジニアリングと都市高速の強靱化」 参加者 251 名 ② 建築・土木合同パネルディスカッション 「首都直下地震への備え」 参加者 246 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. すべて滞りなく達成した。
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 主催者である日本学術会議土木工学・建築学委員会並びに共催の土木学会構造工学委員会・論文集編集小委員会と、今後とも十分な事前調整が必要。 2. 建築分野の投稿論文題数増加に向けた対策。